

花々



都城市立姫城中学校だより 9 月号
令和6年9月20日(金) 文責:校長 島寄善真理

<2学期始動!~生徒会スロガン「輝笑転結」>



各学年代表として、力強く2学期の抱負を述べてくれたのは、1年・山下美郷さん、2年・山下敬太郎君、3年・久保ひよりさんでした。

私からの全校生徒への話は次のとおりです。2学期は、実力テスト、体育大会や文化発表会、中体連等の行事が目白押しで、人間的に大きく成長できるチャンス。3年生は特に進路選択の正念場となります。なかなか思いどおりに進んでいかないのは世の常。何かしらの壁にぶつかることと思います。そこをどう乗り切ろうとするかが大切で、そこに人としての成長のチャンスがあるわけです。

少しずつでいいんです。日々1mmでも前へ進んでいこうとする、そんな姿勢が問われる学期でもあります。1・2年生は3年生が中学校最後の学校行事等にどう向き合っているかを、しっかり目に焼き付けて欲しいと思います。そして、感じたものを自分の糧にしていくことを心から願っています。

<「姫ボラ」の活躍~今後も地区に貢献!~>

「地域があって 子どもがいて 学校がある」の理念のもと、本校では地域への貢献活動を姫ボラスタッフ生徒24名を中心に展開。夏の活躍の一端をご紹介します。秋以降も頑張ります!



(↑おかげ祭り灯籠飾り)(↑ひめぎ六月灯設営)



(↑島津邸イベント協力)(↑蔵原地区リサイクルボランティア)

<第2回学校運営協議会~3校合同協議会~>



姫城中学校区の子どもの現状について共通理解を図ると共に、課題解決のためにできることを3校で協議しました。各校から貴重なご意見をいただきました。

<英語科の新しい試み~海外との交流活動~>

イギリス、スコットランドのテインバラ大学の学生が、本校出身の留学生を介した、2年生との交流学习。すべて英語でコミュニケーション。国際理解が広がっています。



<第76回体育大会終了~感動あふれる大会~>

熱中症が危ぶまれる残暑厳しい中、休息を多く設けたり、寒冷紗やクーラーボックス・扇風機の設置等できる限りの対策を講じた結果、熱中症0で片付けまで終了。沢山の応援を有難うございました。多くの参観者を前に、生徒たちもいつも以上に張り切って臨んでいました。特に、3年生にとっては中学校最後の体育大会で、思い入れもひとしおでした。一人一人にそれぞれの青春の1ページが確実に加わった感動の大会となりました。様々な行事を通して、それぞれが人間的な成長を遂げています。学校の存在意義はこうしたところにあると再認識させられました。

